

すばらしい土木技術をもういちど

第84回 EVENING THEATER 震災特集



阪神・淡路大震災から20年

解説 土木学会土木技術映像委員会委員長 大野春雄氏

2015年3月11日(水) 17:30開場 18:00開演 参加無料
土木学会講堂 (JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分)

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラム(2単位)です。

会員証でCPDポイントの自動登録が可能ですのでご参加の際にご持参ください。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当

上映作品

復旧の軌跡—阪神・淡路大震災土木施設の災害記録



企画：兵庫県土木部
制作：財団法人兵庫県建設技術センター
株式会社NHKきんきメディアプラン
1998年 27分

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災によって兵庫県内の土木施設は、神戸市、西宮市、淡路島北部を中心に大きな被害を受け、被害総額は1兆5千億円に上りました。この作品は地震による土木施設の被害と復旧にテーマを絞った他にあまり類を見ない作品です。その意味で、土木技術者や行政担当者に限らず、土木や防災に関心を持つ多くの人に見ていただきたい作品です。

液状化との闘いをこえて —浦安、被災730日のドキュメント



企画：浦安市 制作：クリフラップ 2013年 47分

東日本大震災の際、浦安市では埋立地域の86パーセントで液状化が発生しました。この作品は、同市内における液状化の発生から復旧復興までを取めた記録映像です。被災、被災後の行政の対応、復旧作業、その間の市民生活の推移等、同市の被災から復旧に関する総合的な視点からの記録を重視した映像であり、行政や住民の行動等のソフト面と災害の状況がよく記録されています。各行政機関等における災害時の対応への参考および、市民への啓蒙等への活用が期待されます。

東京スカイツリー～その魅力を支えるもの～



企画・制作：東武鉄道、東武タワースカイツリー
2012年 7分

この作品は、東京スカイツリータワーの主な特徴、建設目的、主要技術、街作りなどを紹介する映像であり、広く地元の住民から旅行者などにも充分楽しんで貰える作品です。しかし、同時に世界一の電波塔として日本の高い土木技術の粋を結集し、また新しい街作りの役割を持ったシンボルタワーとして作られたことを感じてもらうことの出来る優れた土木紹介作品です。

(短縮版のため震災時の映像はありません)